

08年9月22日 CBC ニュース

JSS による和訳

乗客たちは、なぜ警察が犯人をバスに乗車させたのかの答えを求めている

オンタリオ州ホワイトウォーター発 この週末、ウイニペッグに向けて西行するグレーハウンドバスで、男が20才の同乗者に冷酷に暴行を加えるのを目撃した乗客たちは、なぜ警察はこの暴行犯人をバスに乗せたのかまず問いたいとしている。

オンタリオの北部を走行するグレーハウンドバスの若い男性の乗客が刺される暴行事件が起きたとき、運転席のすぐ後ろに乗っていたウイニペッグ在住の著述家である Anita Daher さんは、州内のワワ町で警官が日曜日の午後、David Roberts を、トロントとウイニペッグ間を西向きに走るバスに乗せるのを見ていたと語った。

少し経って彼女は、後ろで騒動がもちあがった様子に気づき、振り返ったところ男性が苦痛のために胸を抱え込んでいた。Daher さんは911に電話した。彼女によると犯人の Roberts は次の停車地である、サンダーベイとスーセントマリーのほぼ中間地点であるホワイチリバーに着く前で下車させろと要求していた。

サンダーベイの約400km東にあるマニトウエッジ在住の Roberts は、加重暴行及び保護観察条件違反2件の嫌疑を受けている。この男は、火曜日午前中に行われる保釈聴聞法廷に出廷する。

この夏マニトバで、グレーハウンドバスで旅行中の若い巡業遊園地の従業員が斬首された、

血も凍るような事件があった後で、こんな暴行事件がおきけることは考えられないと Daher さんは語っている。

また、何にも増して、警察がなぜこの男をバスに乗せたのかがわからないと彼女は付け加えた。

「何でこんなことになったのか知りたいです。それに、何らかの安全確保対策が実施され手欲しいですね。グレーハウンドは、何かをしなくてはいけないのでは？」と Daher さんは、月曜日の午後、ウイニペッグに戻る道すがら、記者の質問に答えて語った。

一方州警察の James Searle 警部は、事件に関してこれ以上は、事件が地域警察の管轄区域で起きているので、コメントできないとしている。

州警察は、容疑者をバスに乗せる少し前に、地域の警官の犯人取り扱いを手伝ったといっている。

警部は、「事件の経過をもう少し詳しく見極めたいと考えています。そして調査は継続しています。」と語っている。

ワワ警察は、電話問い合わせに未回答であるが、CBC ニュースは、地域警察が Roberts を、日曜日の早い時間に秩序妨害容疑で逮捕し、後に釈放したと伝えている。

Roberts は心理学的な援助を求め、警察は彼を病院に送り、病院で治療の必要なしと診断されたという。CBC によれば、警察は自宅に戻りたいという彼の要請に基づき、通常行うようにバスの切符を購入してやった。

被害者は、この男とは面識はなく、警察は暴行の動機が何だったのかを究明中であると Searle は語っている。

20才の被害者の身元は公表されておらず、ワワの病院に運ばれた後、スーセントマリーの病

院に移送された。

被害者の受けた傷はさほど重篤なものではなく、短時間で退院する見込みであると、Searle は語っている。Daher さんによると、若い被害者が深い傷を受けたか、浅いものであったかははっきりせず、Searle 警部は被害者が刺されたかどうかを確認しなかった。

すべての調査が完了するまで、事件は当面、暴行事件だが、彼は加重暴行の罪に問われていると Searle 警部は語っている。

事件がおきた際にバスに乗り合わせ、被害者の近くでうたた寝していた Pic Mobert First Nation 在住の Floyd Sabourin さんは、「ナイフを持っている人がいる」と叫ぶ声を聞いたと語っている。

被害者が刺されたかどうか明白ではないが、「とにかく、被害者は出血していた。大きな声だった。」と Sabourin さんは、サンダーベイ新聞に語った。

Sabourin さんは、事件でバスを降りることはしなかったが、将来同様の事件発生を未然に防ぐために何かの防止策の実施が必要だと語っている。

この事件は、グレーハウンドがバスの安全性確保に関する現状の検討・・・すでに 1 年半以上もかけ、税金から資金を得て行っている「リスク評定」・・・中に起きている。グレーハウンドの広報担当である Abby Wambaugh さんは、進行中の警察による調査についてコメントしようとしなかったが、同社がグレーハウンドのような路線バスの乗客に及ぶリスクの評定で、連邦運輸省から補助金を得たと語っている。

彼女によれば評定は、現状の安全基準の評価及び変更の必要性に関するものである。また彼女は、評定がいつ終わるかについてはわからないと発言した。

Wambaugh さんはダラスで、「評定が終わればわれわれは(連邦運輸省)と共同すると共に、われわれの提案を話し合い、どんな安全基準の導入が市内交通のバスにとって有効か協議する」と語った。

連邦運輸省は、事故についてコメントしていない。

日曜日にウイニペッグに向かっていた、事件がおきたバスには 14 人の乗客がいた。Daher さんによると、(7 月 31 日の事件で死亡した) McLean さんがバスの後部に席を取っていて刺されたので、彼女は意識的に最前部に座った。

犯人を下ろした後バスの運転手は、救急車が被害者を病院に急送したホワイトリバー町に向けて走行を続けた。他の乗客は警察の聴聞の後、最終目的地に向かう前に、事件の起きたバスでサンダーベイまで引き返した。

- ウイニペッグの Chinta Puxley 記者による。